

スマート大臣

打刻

タブレットアプリ(Android)と
IC カードリーダーの接続資料



目次

タブレットアプリ(Android)とICカードリーダーの接続方法	3
使用するにあたって準備するもの	3
充電対応OTGハブが必要となる理由	3
充電対応OTGハブの接続方法	3
ICカードリーダーのアクセス許可	4

タブレットアプリ(Android)とICカードリーダーの接続方法

ICカードリーダーを使用し、NFC非搭載機種のタブレットでも、ICカードによる打刻を行うことができます。

使用するにあたって準備するもの

- タブレットアプリ (Android) が動作するAndroidタブレット (USB差込口がType-CでPD対応のもの)
- 外付けICカードリーダー (SONY PaSoRi RC-S380/S)
- 充電対応OTGハブ (Type-CとUSB(Type-A)の差込口があり、PD対応のもの)
- Type-Cの充電ケーブル (PD対応のもの)
- USB充電器 (65W出力、PD対応のもの)
- ICカード (FeliCaとMifare Classic 1K(4 byte NUID)に対応)



PD (Power Delivery) 対応が必要な理由

PD対応のもでない場合、電力が足りず本機能を使用できない場合がございます。本機能を使用する場合はPD対応のものをご準備ください。



タブレットと充電対応OTGハブとの相性問題

タブレットとOTGハブの組み合わせにより、正常にICカードリーダーが接続できない場合や、充電ができない場合がありますのでご注意ください。



Androidタブレットの差込口がMicroUSBの場合

差込口がMicroUSBの場合、以下をご準備ください。

- 外付けICカードリーダー (SONY PaSoRi RC-S380/S)
- 充電対応OTGアダプター
- MicroUSBの充電ケーブル
- USB充電器
- ICカード (FelicaとMifare Classic 1K(4 byte NUID)に対応)

充電対応OTGハブが必要となる理由

通常タブレットにはUSBの差込口が一つしかなく、ICカードリーダーを接続すると充電ケーブルを接続できないため、タブレットの充電ができません。

充電対応OTGハブを使用すると、ICカードリーダーの使用とタブレットの充電を同時に行うことができます。

充電対応OTGハブの接続方法

OTGハブのType-Cの差込口に充電ケーブルを接続し、タブレットのType-Cの差込口にOTGハブを接続してください。

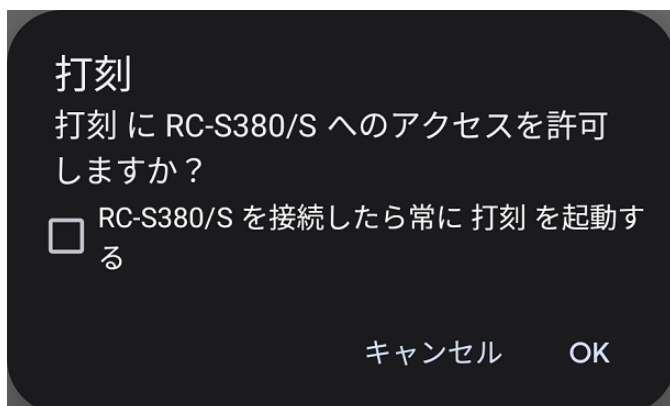
その後、OTGハブのUSBの差込口にICカードリーダーを接続すると、充電をしながらICカードでの打刻ができるようになります。

※上記は一般的な手順です。準備したOTGハブのマニュアル等を参考に接続してください。

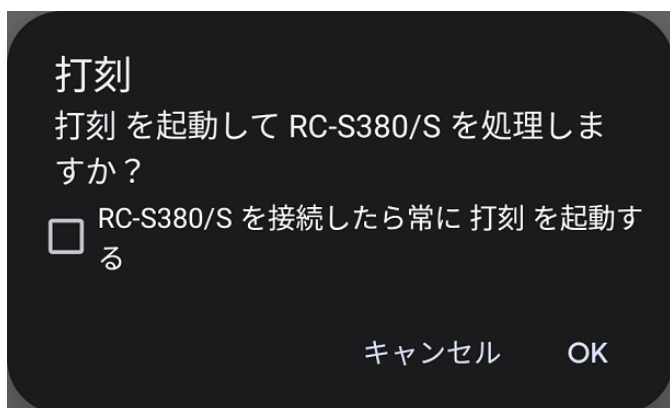
ICカードリーダーのアクセス許可

「【タブレット版】スマート大臣〈打刻〉」の起動時またはICカードリーダーの接続時に、アクセスを許可するためのダイアログが表示されますので、[OK]をタップしてください。「常に 打刻 を起動する」にチェックを付けると、次回からICカードリーダー接続時に自動で「【タブレット版】スマート大臣〈打刻〉」が起動します。

<「【タブレット版】スマート大臣〈打刻〉」の起動時>



<ICカードリーダー接続時>



ICカードリーダーを使用するアプリが複数インストールされている場合は、「打刻」を選択して「一回のみ」または「常時」をタップしてください。

<ICカードリーダーを使用するアプリが複数ある場合>



その後のICカードの登録などのアプリの操作方法に関しては、「スマート大臣〈打刻〉 システム管理者マニュアル」の[3-2 初回設定]を参照してください。

※この資料はタブレットアプリ（Android）用の資料です。WebタイムレコーダーでICカードリーダーを使用する打刻を行うことはできません。